

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
家庭科・家庭基礎		普通科・1年	2	新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来 (第一学習社)
科目の概要と目標		人の一生を生涯発達の視点でとらえて、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解したり、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得したりして、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。		
学期	単元	学習内容		到達度目標
1 学期	ホームプロジェクト	・生活の課題について考える		・自分の身のまわりの生活課題を見つけ、調査・研究を行い、レポートを作成することができる。
	人とかかわって 生きる	・自分らしい生き方と家族		・人の一生について、それぞれのライフステージごとの特徴や課題について考えることができる。
		・子どもと関わる		・子どもの心身の発達と特徴について知り、子どもの食生活・衣生活や遊びについて理解を深めることができる。
		・高齢者と生きる		・現在の高齢社会や、高齢者の心身の特徴と生活について理解することができる。
		・社会保障や社会参加		・社会保障制度に関する理解を深めたり、自分にできる社会参加の仕方について考えたりすることができる。
2 学期	生活をつくる	・衣生活をつくる		・衣服の機能や役割について理解することができる。 ・衣服の素材について学び、品質表示等を見て適切に管理を行う方法について理解することができる。 ・衣生活が環境に及ぼす影響について考えることができる。 ・布を使った小物の製作等の技能を身に付けることができる。
		・食生活をつくる		・食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考えることができる。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を習得することができる。 ・食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について理解することができる。 ・バランスの良い食事について考えることができる。 ・調理に関しての基礎的な技術を身につけることができる。
3 学期	生活をつくる	・住生活をつくる		・住まいの機能や、住まいと気候風土とのかわり、家族周期とのかわりなどについて理解することができる。 ・安全で快適な住環境について考えることができる。
		・経済生活をつくる		・消費行動において、意思決定のプロセスを理解することができる。 ・ロールプレイを通して契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法、被害にあった場合の解決方法について理解することができる。 ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解することができる。